

2018年6月15日
JFE条鋼株式会社

廃棄物処理量 累計 10 万トン達成

当社の水島製造所(岡山県倉敷市、所長:稲富淳常務執行役員)は、本年 3 月に廃棄物処理の累計が 10 万tに達しました。水島製造所では 2003 年度から産業廃棄物の処理事業に、また 2008 年度からは一般廃棄物の使用済み乾電池処理事業にも参入し、電気炉による熔融処理を行っており、残渣物が発生しないリサイクル処理で地球環境の保全に貢献してきました。

処理量の一般廃棄物と産業廃棄物の実績構成は約半々。廃棄物中の鉄分は弊社製品(異形棒鋼)の原料として活用し、電気炉での熔融後のスラグは路盤材として活用、集塵後のダストは亜鉛精錬原料および製鉄原料としてリサイクルしております。そして廃プラスチック類や炭素分は熱源として利用しており、廃棄物をほぼ 100%リサイクルしています。

また当社では、本年 3 月から新たに鹿島製造所(茨城県神栖市)においても一般廃棄物の使用済み乾電池処理事業に参入し、日本で初めてとなる、使用済み乾電池の処理における東西両拠点体制を確立しました。

今後も、電気炉による高温熔融処理の特徴を活かした、処理困難物や無害化が必要な廃棄物を中心に積極的な資源リサイクル事業を展開することにより、資源循環型社会の形成に貢献してまいります。